

【来賓挨拶】 環境大臣政務官・朝日健太郎参議院議員

今日はSports Ecosystem Conferenceの開催、そしてスポーツエコシステム推進協議会の新たな発足ということで、心よりお祝いを申し上げたいと思います。

スポーツ選手だった私が、今、国政の場で仕事をさせていただいています。私にできることは一体何だろう。国がやることは、大きな目的が2つあります。予算の配分とルールメイクです。こういった協議会の皆様からの御要望をしっかりと承りながら、国のルールを変える。ある意味、それは、いい方に変えるというよりも、邪魔なルールを緩和していくことになる。こういった考え方もあります。様々な角度からお手伝いをしていきたいと思っております。

そして、スポーツ庁の予算というのは、実は全体から見るとまだまだ小さいのです。というのも、スポーツ庁が発足したのは2015年です。わが国の中にあって、スポーツ政策をきちんと位置づけて、前に進めてきて、まだ10年足らずです。そう考えると、このスポーツエコシステム推進協議会が起点となって、日本のスポーツカルチャーが大きく発展する、そんな時期に来たのかなと大変期待をしております。

今日は、有識者の方々のパネルディスカッションがあると聞いておりますし、この後も、我々スポーツ政策を推進する仲間の国会議員も来る予定となっておりますので、どうかこのカンファレンスが大いに盛り上がることを御祈念申し上げて、そして皆様の御活躍を祈念して、御挨拶に代えたいと思います。